

まち運営会議(第121回)議事録(概要)

令和3年11月25日 18:30～20:20

自由が丘会館 3F

議長 木村常在

議題 報告事項

1. 情報提供 ①駅周辺の喫煙コーナー その2 ②目黒区実施計画素案の自由が丘関係部分
目黒区地区整備課
2. 住宅地の緑の街づくり 目黒区の取組みの紹介 目黒区みどり土木政策課
3. 附置義務駐車場の地域ルール策定に向けて その2 ジェイ・スピリット まち構造研究会

資料

1. 自由が丘美観商店街の灰皿(バケツ)について(区環境保全課)、美観街より私道内禁煙のお知らせ
2. 目黒区実施計画素案(含 財政計画素案)、ご意見募集など(目黒区 HP より、めぐろ区報 11/1号)
3. 目黒区みどりの基本計画(目黒区生物多様性地域戦略)スライド版コピー
関連パンフ・ちらし(いきもの气象台、屋上緑化助成、壁面緑化助成、接道部緑化助成、目黒のサクラ保全事業だより2号、目黒のサクラ基金)
4. 自由が丘駅周辺のまちづくりと駐車場について

●代表 新型コロナ感染者数は減少してきている。前は久しぶりの会で、盛りだくさんの内容だった。今回は目黒区実施計画素案の説明がある。目黒区の担当者も大変努力されて、自由が丘のまちづくりに多額の事業費がつく計画素案になっている。その他、自由が丘にとって大事な内容の提案等があります。今日もよろしくお願いいたします。

1 駅周辺の喫煙コーナー 目黒区実施計画素案

- 議長 第121回の自由が丘のまち運営会議を開きます。まず地区整備課からの情報提供です。
- 係長 美観商店街の灰皿の対応について、環境保全課に代わって説明します。前回のこの会で、美観街の私道に置かれている灰皿(バケツ)はなんとかならないかという意見があった。環境保全課が確認したら商店街は11月10日から灰皿を設置しないという報告があった。当日、区は「路上喫煙禁止区域」のシールを貼ったり、当該店の前に掲示した。区は商店街とともに路上喫煙をしないようにPR活動を進める。
- 議長 この件でシルバーセンターへの連絡は済んでいるか。
- 既にシルバーセンターから私たちまちの担当者に連絡があった。
- 課長 広場にある屋外の指定喫煙所については所管で対応を検討している。進捗があれば報告する。
- 係長 目黒区実施計画素案について説明したい。自由が丘ばかりでなく、目黒区全体について知っていただくと思い、厚い資料を用意した。目を通してご意見もいただきたい。コロナ禍ではあるが区の職員がパネル等を使ってオープンハウス型説明会を11月21日と25日に緑が丘文化会館で実施した。

素案では、初めに全体の事業規模、主な改定項目、実施計画素案の特徴などを記してある。3つのテーマを設定し、テーマ1は未来への投資、テーマ2は次代を担う子どもたちへ、テーマ3は安全で快適なまちづくりであり、この中に「自由が丘駅周辺地区の街づくり」が入っている。自由が丘関連の事業費は全体

の事業費約 466.7 億円のうち約 111.6 億円で、他の事業費に比べて桁違いに高額になっている。いま自由が丘の街づくりが活発に動いていて、これを止めないように必要な金額を計上してある。事業費には、まちづくりとともに補助 127 号線が令和 4 年から事業認可になっていて、その部分も含まれている。この達成目標は 3 つあり、1) 公民連携まちづくり 2) 都市計画道路沿道周辺街づくり・補助 127 号線整備 3) 鉄道沿線街づくり である。

参考資料として後ろに付けた目黒区財政計画素案の今後の区の財政状況には以下の記述もあり、区の自由が丘のまちづくりへの意欲を汲み取ってほしい。「区の基幹財源である特別区税や特別区交付金など、歳入の大きな増を見込むことは現時点で難しい状況である。また、国の不合理な税制改正（法人住民税一部国税化、地方消費税清算基準見直し、ふるさと納税）により、60 億円以上のマイナス影響が今後も続く見込みである。」「歳出面では、・・・、子育て支援施策の拡充等による社会保障経費の増や今後の学校を中心とした区有施設の更新経費負担が大きな課題となっている。」 お配りしためぐろ区報 11/1 号では、基本計画と実施計画は区民の生活に直結する目黒区の未来への取組みであるのでこれら素案について意見を求めている。

- 議長 ありがとうございます。質問や意見をお願いします。（問）。8 年度にこの実施計画が終わるころには東横線が高架になるか地下になるかはわかるのか。
- 課長 なるべく早い時期に決めたいが、今は言えない。検討に入れたことに意味がある。
- 127 号線の整備で広い歩道ができるが、学園通りも歩道がつけばいいと思っている。
- 課長 まちの中が歩きやすくなるように、駐車場の地域ルールを検討もする。
- 事業費内訳で、非施設のその他の項目に多くの金額がつけられているが、これについて説明がほしい。
- 課長 施設と非施設に分けてあるが、施設は目黒区の資産になるもの、区道とか区の公園とかの公共施設などである。非施設はまちづくり活動への補助金・交付金などで、市街地再開発事業で地域のみなさんのためになるものになる。
- 事業費に年度でかなりなのでこぼこがあるがなぜか。
- 課長 年度で何をするかによる。たとえば 5 年度は用地取得、7 年度は設計・工事を計画している。
- 鉄道の立体化で、東横線・大井町線の両方を地下にする案もあるだろう。そうなれば乗り換えに便利だ。緑をふやすこともできて子孫に良いものが残せる。スペースもできて将来は空飛ぶ自動車にも対応できるだろう。
- 課長 鉄道の立体交差化については過去にも議論や検討があった。その経緯は区の HP で見られるようにしてある。今後、東急電鉄などの関係者等とも綿密に検討する。昨年、地域の人たちが自由が丘のランドデザインを作成して目黒区と世田谷区に届けた。その内容の中心には、まちをウォークアブルにするということがある。全てをフラットにする考えもあり、立体的に土地の有効利用する考えもある。目黒区はランドデザインを受けて、地域のみなさんの協力も得て「自由が丘未来ビジョン」を策定して、自由が丘はこんなまちにしようという具体的な絵を作ろうと思っている。まちに緑をふやすためには屋上緑化や壁面緑化などさまざまな方法があると考えている。
- 自由が丘に関する 3 - 31 ページには無電柱化の推進が載っていないが、これはどうなるのか。
- 課長 目黒区は無電柱化推進計画を作っている。まずチャレンジ路線を決めて事業展開することがこの実施計画にある。ここに書かれてないが、自由が丘では 127 号線は無電柱化にする。再開発の際には、地域貢献という形で他の場所の無電柱化も考えている。
- 自由が丘のバリアフリー計画についても、もう少し書いてほしい。
- 課長 自由が丘は道路整備と再開発整備に併せて、まずは駅前からバリアフリー化を進めていきたい。

- 議長 カトレア通り西側の共同化についても事業費はついているのか。
- 課長 この中には検討支援ということで入っている。駅前、東地区も再開発の動きがある。サンセット地区でも勉強会をしている。令和6年にはその時点での状況で計画を見直すことができる。
- 議長 実施計画素案に関して、事業費の大きな計画についてはもう少しその内容を説明するページを加えて、区民に知らせる必要はないか。
- 課長 実施計画は基本計画にぶらさがっているものであり、質問があれば説明することになっている。
- 令和5年度に、都市再生整備計画の策定とあるが、これについて説明してほしい。
- 課長 ウォーカブルなまちづくりは、職住近接で歩ける範囲で生活できるまちづくりであり、回遊性の向上を図る。区は令和4年にエリアプラットフォームと未来ビジョンを作成して、令和5年にこれを都市再生整備計画に基づいた取組みとすれば、歩道を使ってベンチを置いたりでき、国から補助が得られる。
- 議長 他に質問がなければ次の議題に移ります。

2 住宅地の緑の街づくり 目黒区の取組みの紹介

- 議長 前回にイギリスの緑のまちづくりなどの発表があり、今日はその質疑応答を予定していましたが、原さんから欠席の連絡が昨日あったので、これは先に延ばして、次に予定していた目黒区のみどり土木政策課みどりの係の茂野係長さんにスライドを使って目黒区の取組みを紹介してもらいます。
- 係長 はじめまして。よろしくお願いします。みどり土木政策課は道路、公園、河川、みどりなどを担当しています。緑の街づくりについて目黒区の取組みを紹介します。

(以下、この議事録概要の後ろに付けたスライドの他に次のスライドも含めて丁寧な説明があった。)

都市養蜂の効果。みどりの役割(環境保全、防災、景観、生物多様性、...)。みどりのネットワークの形成。エコロジカルネットワークの形成(いきものがすみ、移動できる緑地を効果的に配置する)。屋上緑化の事例。区民の協働。みんなの選ぶめぐろのいきもの80選。区民参加調査の活用。目黒のサクラ基金とその活用。

- 係長 自由が丘ではピーコックなど大きな建物の改築の際に、また、住宅街で新築する方々にもみどりを増やすように、接道緑化で花を植えてもらうなどお願いしてきている。樹木の管理を好まない方もおられるので苦労している。屋上緑化はメンテナンスフリーの方法もあり勧めている。ソーラーパネルの設置は課題もあってあまり進展していない。緑ヶ丘小学校のピオトープには多くの種類のトンボが来ていることがわかり、児童と一緒にこれからも大事に見守っていきたいと思っている。

- 自由が丘住区住民会議の成人事業部では、まちに花やみどりを増やそうと、先週も区からいただいた花などの苗を緑ヶ丘小学校で無料配布した。盛況であった。これまでも年に数回している。自由が丘公園で配布する時には、子ども連れの家族も多く来ているので、子どもにも花植えに関心を持ってもらっている。配布する苗木は、区からもらうものもあるが、住民会議の予算で買うものもある。秋に小学校で行うおまつり広場では、区からもらう苗木の無料配布や花の苗を仕入れてそれを原価で売っている。区には安く仕入れることができる方法を紹介してもらいたいとお願いしている。

- 課長 前回そういう要望があることを聞いて、西部地区サービス事務所の所長に伝えた。目黒区は友好都市の宮城県の角田市から花の苗などを調達している。ブルーベリーなども区民に好評のようだ。

3 自由が丘駅周辺のまちづくりと駐車場について

- 議長 前回に続いて自由が丘駅周辺の駐車場設置の課題と方向性について、まち構造研究会の溝口さんに資料も用意されましたが、スライドを使ってお話いただきます。

●溝口です。前は時間の関係で説明が駆け足で質疑応答もできなかったのですが、今日は少しゆっくりお話しします。いま自由が丘は、まちなかの歩行者空間の拡大を目指していて、その手段として駐車場計画の策定が求められています。自由が丘の駐車場の現状と課題を明らかにし、都の条例の改定も視野に入れて近い将来の駐車場設置の方向性を提案したいと思います。

(以下、スライドに沿って説明があった。内容は専門的ではあるが、よくまとまっていてわかりやすかったと思う。この議事録概要の後ろにスライドの一部のコピーを付ける。ジェイ・スピリットのHPの<まち運営会議>には、議事録概要の他に、このスライド全部の pdf ファイルを掲載します。)

●議長 ありがとうございます。駐車場の地域ルールに関して目黒区はどう対応する予定か。

●課長 区は地域ルールの策定に協議会も立ち上げて取組む。都の駐車場の附置義務の緩和など条例の改定にあわせて、自由が丘にふさわしい駐車場の地域ルールを作りたい。条例は来年度に改定されるだろう。自由が丘の駅周辺はウォークアブルなまちにしようとしている。路面店が多いので、そのあちこちに駐車場の出入口があれば歩きにくいことになる。

●自由が丘に車でくるときには、自由通りや学園通りなどの幹線道路から細い道路を使ってまち中に入る。まち中に駐車場がふえれば細い道路も広くない幹線道路も渋滞が予想され、歩行環境も悪くなる。駐車場とその収容量がどのくらい必要か検証して決めたい。

●課長 12月に行う交通量調査は現状の駐車場の使われ方、どう分布しているかなどの基礎調査である。この調査は100%解決に向かうものでないが、案を示し、ご意見をいただき、良い解決策を作りたい。

●こういう動きをうけて、自1-29の現在考えている駐車場の収容台数等は変更することになるか。

●代表 多分間に合わない。つまり、現行の附置義務駐車場の条例に合わせて作ることになる。将来的には余裕が生じれば、隔地駐車場として利用することも十分考えられる。

●議長 他に質問ありませんか。(間)。駐車場に関しては、これからも随時取り上げたいと思っています。

4 その他 駅前トイレ

●事務長 駅前トイレ美化推進協議会がこの春立ち上がり、評判の良いトイレにしようと目黒区と地元で協議し、課題を洗い出した時点でコロナ感染の拡大があり中断していた。この11/8に久しぶりに開催した。その間に目黒区は春に出た課題をよく調べてくださった。土地は東急が持ち目黒区が借用している。そうした権利関係などから地元がやれること・やれないこと、日常の管理経費なども明確になった。現状では地元は何もできないが、これならできるのではと提案を考えてみたい。進捗したら協議会を開き、この場でも報告したい。

●議長 多摩美大の学生さんの絵を募集し壁にラッピングするなどの案があったが中断して、現時点での課題が絞られてきたので、まずそれらを検討するということですね。

今日はこれで第121回の自由が丘まち運営会議を終了します。ありがとうございました。